

別記様式

		担当課	教育部 教育総務課
会議の名称	第4回 鴻巣市立小・中学校のあり方研究懇話会		
開催日	令和3年1月13日(水)		
開催時間	午前10時05分 開会・午前11時10分 閉会		
開催場所	鴻巣市役所 本庁舎 3階 303会議室		
出席者(委員)氏名 (出席者数)	林義典、酒巻和生、鷹巣美和、川島快友、佐藤芳隆、清水励 (6名)		
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)	石崎一記、羽鳥守、牧田卓司、荻野浩、日比暁美、鉢村優子、(6名)		
事務局職員職氏名	教育長	武藤 宣夫	
	教育部長	齊藤 隆志	
	教育部参与	野本 昌宏	
	教育部副部長	清水 千之	
	教育総務課長	鳥沢 保行	
	教育総務課副課長	藤平 健司	
	教育総務課副主査	新井 洋平	(7名)
傍聴の可否(傍聴者数)	可(傍聴者0名)		
会議の内容	(議題)		
	1 開会		
	2 あいさつ		
	3 懇談内容	(仮称) 鴻巣市立小中学校統合準備委員会規則(案)について 今後の市内小・中学校に関する適正規模及び適正配置の考え方について	
	4 その他		
	5 閉会		

(決定事項など)

3 懇談内容

(1) (仮称) 鴻巣市立小中学校統合準備委員会規則(案)について

教育委員会より、12月議会にて笠原小学校の閉校に関する条例が可決されたことに伴い、鴻巣中央小学校との統合に向けて準備委員会の規則(案)を示し、特に所掌事務、構成委員について意見をいただきたいと説明。

(懇話会委員の主な意見)

- ・第2回、3回でも意見を述べたが、統合にあたり、学校の名称変更について、どのような日程で決まるのか。12月議会後に決めるとあったが、どうなるのか。

川島町や成田小学校のように、校名変更を希望しているが、一方の考えで決まるわけではないし、今後、適正配置を進める中で、前例になると思うので、事務局の考えを聞きたい。
⇒教育委員会としては、今後の統廃合を考えると、例えば、平成27年の適正配置等審議会で検討していた常光小学校が統合された場合等を仮定すると、何度も校名変更することになるため、現在は考えていない。

- ・今後、市内全体の適正配置を検討する際に、ケースによって考えていく必要があると思っている。

- ・学校行事等について、来年度各学年の交流を考えている。社会科見学や林間学校等。来年の6年生については、最後の年であるため、修学旅行は別々に実施を考えている。その他、学年ごとの話し合いで決めていきたい。

新1年生は学校に慣れてからという事で2学期後半。新5年生は統合したら最高学年であり、学校を担っていくといった役割で育っていくため、お客様にならないように交流を充実させていく。

- ・ICTを活用した共有も検討している。
- ・交流等で忙しくなるのは仕方ないと思うが、先生方の負担についても配慮が必要。
- ・笠原小学校の最後の1年として、余りにも騒がしくならないように注意していく。
- ・提案のあった準備委員会のメンバーで、この所掌事務を担うのは荷が重い気がする。

⇒準備委員会はパイプ役であり、教育委員会や各学校、PTA等で事前に検討した上で、準備委員会には提案、報告し、意見をいただくような形を考えている。提案から決定まで全てを準備委員会では考えていない。

- ・PTA活動についても、組織が違うため、交流する時間が必要だと考えている。学校公開日等をどのように設けるか検討したい。

- ・保護者に学校を知ってもらうため、児童同士の交流会を参観してもらうことを考えている。

- ・地域の保育園等、声をかけることで繋がっていければ良いのではないかと考えている。

- ・新型コロナウイルス感染症禍ではあるが、児童同士の準備委員会的な交流もあっても良いのではないと思う。お互いの学校に出向いて、学校探検をするなど。

- ・実際に準備委員会が動き出すのは4月を予定している。PTA役員等の選出時期は学校ごとに異なっているが、経験者を委員に選出するなど配慮したい。

	<p>(2) 今後の市内小・中学校に関する適正規模及び適正配置の考え方について資料の説明。クラス替えができる規模へ。</p> <p>他市の動向も参考に、義務教育型、併設型、連携型の小中一貫教育も踏まえて。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は鴻巣中央小学校と笠原小学校で連携し、統合に向けて取り組んでいく。 ・ 適正配置については、関係者が知らないところで決まることがないように、今後も積極的に情報提供していく。 ・ 反対していた方は、地域において冷ややかな目で見られている。 今後の取組においては、このようなことがないように取り組んでいきたい。 ・ 笠原小学校が閉校することは寂しいが、子どもたちが前向きな気持ちになれるよう送り出したい。 ・ 市内全地域において、私立の小中学校に行く子がいるのかはわからないが、そういった事情も踏まえて検討した方が良いのではないか。 ・ 本懇話会の任期は2年となっているが、関係団体から選出されている場合、役員改選の都合で本日が最後になる方もいると思う。 ・ 小規模校の悲哀といったものを経験したことがあるが、子どもたちにそのような思いをしてほしくない。 ・ 鴻巣中央小学校に行った際に、笠原小学校の方が良かったと感じる子は必ずいると思うが、それも学びの一つであり、大人数でもまれることは学びの段階では必要と考えられることから、学校には行きたくないといった状態にまでならないように配慮しながら取り組んでいきたい。 <p>4 その他 なし</p> <p>5 閉会</p>
配 布 資 料	<p>① 鴻巣市小・中学校統合準備委員会規則（案）</p> <p>② 所掌事務の具体的な内容</p> <p>③ 【参考】35人学級について</p> <p>④ 令和3年度児童生徒数・学級数について（見込み）</p> <p>⑤ 適正配置等審議会諮問</p> <p>⑥ 適正配置等審議会答申</p> <p>⑦ 進学先中学校一覧</p> <p>⑧ 小学校区域図</p> <p>⑨ 中学校区域図</p> <p>⑩ 小中学校適正規模及び適正配置関連の会議体におけるスケジュール（案）</p>

注 会議の内容の欄は、主な意見や質疑内容を交えて概要を記入し、記入事項が多い場合は、別紙に記入するものとする。